

内湾地区復興まちづくり協議会 ワーキングの開催について

- 魚町地区防潮堤の高さが22センチ高く施工されたことを受け、内湾地区復興まちづくり協議会では、6月6日に宮城県知事及び宮城県議会議長宛てに、当初計画どおりの高さで防潮堤を造り直すことなどを求める「魚町地区防潮堤に関する要望書」を提出しました。
- 6月30日に開催されたワーキングでは、宮城県より施工ミスに至った原因と経過や新たな対策案が提示され、内湾地区復興まちづくり協議会では、権利者個別説明、地区会、ワーキング、魚町権利者による懇談会などを開催し議論を重ね、8月7日の記者会見では、これまでの県の対応の問題点を指摘した上で「検討を進めてきた22センチ嵩上げ案を、現段階ではこれ以上進めることは出来ない。」「6月6日の要望書のとおり、地盤隆起分を考慮した従来計画どおりの防潮堤施工、遅滞のない土地区画整理事業の推進を求める。」との検討結果を公表しました。
- 宮城県では、8月7日のまちづくり協議会の記者会見を受け、8月14日付でお詫びとお願いを行い、9月3日の記者会見では、地域の皆様へいわれのない批判を受けていることに対するお詫びと、県民の皆様にご理解していただくため、これまでの経過やミスが起きた経緯をホームページで公表しました。
- この件に関して、下記のとおりワーキングを開催します。

【ワーキングの概要】

- 1 **開催日時** 平成30年9月15日(土) 午後1時30分から
- 2 **開催場所** ワン・テン庁舎二階 大ホール
- 3 **内容**
 - ・魚町地区防潮堤について